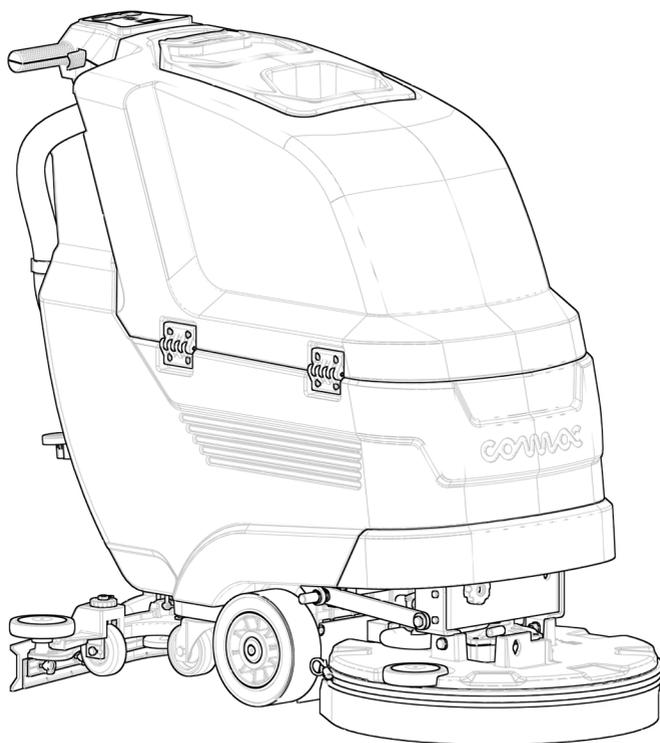


 RINREI × 



20インチ自走式自動床洗浄機
取扱説明書

Antea 50 BT/BTO

RINREI
RookRED



ORIGINAL INSTRUCTION DOC. 10056728 - Ver. AC -

目次

このマニュアルで使用されるマーク.....	4
このマニュアルの目的と内容	5
対象者.....	5
取扱説明書の保管.....	5
本機の納品受領に関して	5
本機の導入にあたり.....	5
モデル名及びシリアルナンバー.....	5.6
安全の為に.....	5
テクニカルデータ.....	6.7
一般的な安全規則.....	9
本機で使用されるマーク	11
登録プレートに表示されるマーク	11
本機に表示されるマーク	11
本機に見られるマーク.....	11
操作パネルの表示.....	12
操作パネルスクリーン	13
パワーメータ	16
バッテリー残量レベル・インジケータ	16
バッテリーの再充電.....	17
ブラシの取り付け (BT).....	18
ブラシヘッド・スブラッシュガードの取り付け (BT).....	18
スクイージーの組み立て.....	19
清水タンクを水で満たす.....	19
洗剤を使う場合	20
作業の準備	21
作業の開始.....	22
床洗浄	22
洗浄のみ.....	23
吸水作業.....	24
散水量の調整.....	25
前進速度の調整	25
後進.....	26
緊急停止スイッチ	26
エコモード	27
オーバーフローデバイス.....	27
作業終了に際して.....	28
メンテナンス.....	29
汚水タンクの点検とクリーニング.....	29
清水タンクキャップフィルターの点検とクリーニング	30
スクイージーユニットの点検とクリーニング	31
スクイージー角度の調整.....	32
汚水タンクフィルターフロートの点検とクリーニング.....	33
清水の点検とクリーニング.....	33
ブラシの清掃とメンテナンス	34

バキュームホースの点検とクリーニング	34
ウォーターシステムのクリーニング	35
トラブルシューティング	37
廃棄について	40
ブラシの選び方と使い方	40
EC適合宣言書	41

この文書に含まれる説明には拘束力はありません。したがって、同社は、要素、詳細、またはアクセサリ供給に関して、改善の必要がある場合または製造/商業的な要請があると思われる場合には、常に、いかなる修正もこれを使用する権利を有します。この文書に含まれるテキストや図面を複製することは、部分的であっても、法律によって禁止されています。

同社は、技術面および/または供給面に関する修正を行う権利を有します。イメージは単なる参照としてのみ示されているものであり、実際のデザインや器材に対する拘束力はありません。

このマニュアルで使用されるマーク



取扱マニュアルを参照して下さい



開かれた本のマーク：
使用者（操作者）は本機械を使う前にユーザーマニュアルを読んでください。



屋内で使用して下さい。



このマークの後に続く文章を注意深く読み、使用者（操作者）は本機を安全に使用するめに指示に従ってください。



鋭利な物によって手に大ケガを負う危険性を避けるために、常に保護手袋を着てください。



化学薬品によって手に大ケガを負う危険性を避けるために、常に保護手袋を着てください。



本機を適切な方法で輸送していただくことを示します。



本機の使用方法を改善するために、使用者に追加情報を示します。



本機を処分するには、このマークがある項を注意深く読んでください。



本機の操作は使われている地域で施行されている環境規制に従い行われなければならないことを使用者に知らせます。

このマニュアルの目的と内容

このマニュアルの目的は、最も安全で、最も適切で、最も自主的な方法で本機を使うために必要なすべての情報をお客さまに提供することにあります。それには、技術面、安全性、操作、作動停止時間、メンテナンス、予備部品と廃棄に関する情報を含みます。使用者と専門知識のある技術者は、本機などの操作を行う前にも、この取扱いマニュアルを注意深く読まなければなりません。取扱い指示について正しく理解しているか確信がない場合には、お近くのリンレイ営業所および取扱店までご連絡いただき、必要な説明をお求めください。

対象者

このマニュアルは本機を扱うすべての使用者及び技術者を対象とします。

取扱説明書の保管

本マニュアルは熟読後きちんと保管し、不明なことが有る場合いつでも閲覧できるように保管してください。

本機の納品受領に関して

本機が納品されたらすぐにチェックを行い、器材が輸送の間に損害を受けなかったことの確認し、問題があった場合には、すぐにお近くのリンレイ営業所もしくは販売店までご連絡下さい。

本機の導入にあたり

本機を使用するにあたり、本マニュアルをきちんと熟読してください。不明なことが有る場合は再読いただくか、リンレイ営業所もしくは販売店までお問合せください。

モデル名及びシリアルナンバー

本機のお問い合わせをいただくにあたり、モデル名、バージョン名およびシリアル番号（それぞれのプレートに記載されている）お買い求めの販売店を必ずご確認の上ご連絡ください。

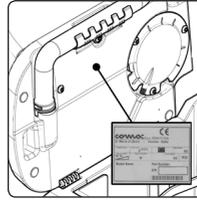
安全のために

本機を安全に使用するにあたり、正しい使用方法を習得してください。ご不明な点がある場合、本マニュアルを再読いただくか、リンレイ営業所もしくは販売店にお問い合わせ下さい。

モデル名およびシリアルナンバー

本機を安全に使用するにあたり、正しい使用方法を習得してください。ご不明な点がある場合、本マニュアルを再読いただくか、リンレイ営業所もしくは販売店までお問い合わせ下さい。

1. 本機のシリアルナンバー
2. 本機の名称。



comac		
S.p.a. Made in Italy S. Maria di Zevio - Verona - Italia		
Production Year XXXX	Power Source XX V ~	Battery Weight XXX kg
Max. Op. Gradient X%	Power Consumption XXX W	Machine Weight XXX kg IP XX
Model Name XXXXXX XXX	Part Number: XXXXXX	
	S/N XXXXXXXXX	

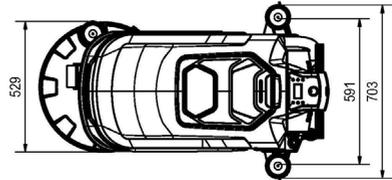
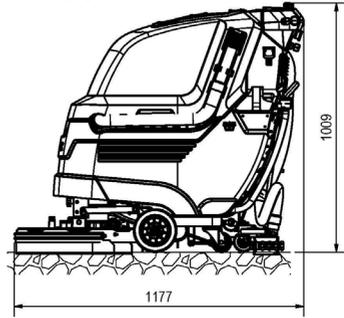
②

①

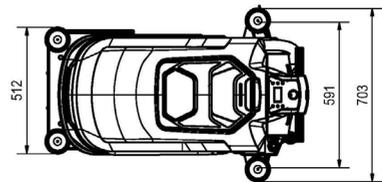
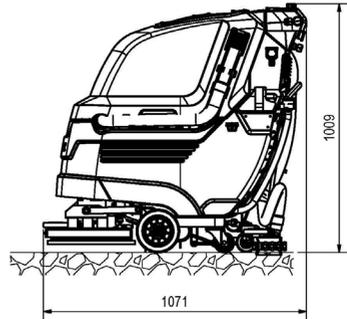
テクニカルデータ (ANTEA)	単位	ANTEA 50 BT	ANTEA 50 BTO
定格電流	W	1100	1000
洗浄幅	mm	508	508
清掃能力	m ² /h	1780	1780
最大負荷時の最大傾斜	%	10	10
スタンダード・スクイージー幅	mm	700	700
ディスクブラシ (数 / 直径)	No. / Ø mm	1 / 508	-
ディスクブラシ 回転数	rpm	140	-
ブラシヘッドモーター (通常定格/ボルト)		500 / 24	400 / 24
筒型ブラシ (数 / (直径 / 長さ))	No. / (Ø mm - mm)	-	-
筒型ブラシ rpm	rpm	-	-
長方形パッド (数 / (幅 / 奥行))	No. / (mm - mm)	-	1 / (508 / 355)
円盤状パッド (数 / (直径))	No. / Ø mm	-	-
振動数	rpm	-	2300
パッド圧	kg	23	25
フロントホイール [数 / (直径 / 幅)]	no. / (Ø mm / mm)	2 / (175-60)	2 / (175-60)

テクニカルデータ (ANTEA)	単位	ANTEA 50 BT	ANTEA 50 BTO
走行モーター (通常定格/ボルト)	W / V	180	180
最大前進速度 (約)		4.0	4.0
走行用モーター (通常定格/ボルト)	Km/h	2.2	2.2
バキュームモーター (通常定格/ボルト)	W / V	420 / 24	420 / 24
吸引力	mmH ₂ O	1240	1240
清水タンクの容量	l	40	40
汚水タンクの容量	l	60	60
製品の長さ	mm	1177	1071
製品の高さ	mm	1009	1009
製品の幅 (スクイージー無し)	mm	591	591
スクイージー幅	mm	800	800
推奨バッテリーの電圧と公称容量(5h)	V/Ah	12 / 90	12 / 115
本体重量	kg	153	177
本体総重量(満水時)	kg	193	217
騒音値 (ISO 11201) - L pA	dB (A)	66	66

ANTEA50 BT



ANTEA50 BTO



一般的な安全規則

本機の使用にあたり、操作者の安全、機器の損傷を防止するため、本書の規則を熟読し守って下さい。

注 意:

- 本機のラベルは注意深く確認して下さい。いかなる理由があってもラベルを覆ったりしないで下さい。ラベルが損傷した場合には直ちに交換して下さい。
- 本機使用の際は安全を確保するため、注意表記等をして下さい。
- 本機使用の際は訓練を受けた上で実施して下さい。
- 登録プレートに記載されている傾斜より急な角度の地面に対して本機を使用しないで下さい。
- 本機はざらざらした床やでこぼこした床の清掃に適していません。本機は平らな床で使用して下さい。
- 充電コードが損傷した場合、ただちにリンレイ営業所もしくは販売店までお問い合わせ下さい。異常を感じた場合は建物コンセントから充電コードを直ちに外して下さい。
- 異常を感じた場合、速やかにハンドル部の緊急停止ボタンを押して下さい。
- 保守作業を実施する際には、メインスイッチで本機の電源をオフにして下さい。建物のコンセントから充電コードを外して下さい。
- 本機が許可無く使用されることを防ぐために使用後はキーを抜いて下さい。
- 本機使用の際は周囲の人に危険が及ばないように十分注意して下さい。
- 本体にブラシを使用する際は床材に適したブラシを使用して下さい。
- 使用者が本機から離れる際は、本機が意図せず動くことがないように電源を切り、安全を確保して下さい。

注 意:

- 本機を屋外や、湿気が多い環境や雨に直接さらされた状態で使用したり、そのような状態で放置してはなりません。本機は、-25°Cから+55°Cの間の温度の室内で保管されなければなりません。

□ガス、起爆性/引火性の液体または粉末、もしくは、酸および溶媒を決して回収しないでください！これらには、ガソリン、ペンキ用シンナーおよび燃料油（吸い込んだ空気と混ぜ合わせられると、爆発性のある霧や混合物をつくることができます）、および、希釈されていない酸と溶媒（アセトン、アルミニウムおよびマグネシウム粉）を含みます。これらの物質は、本機を製造するために用いられた材料を腐食する可能性もあります。本機が危険なエリア（たとえば、ガソリンスタンド）で使われるならば、相応の安全基準を遵守しなければなりません。爆発の危険性がある環境下では、決して本機を使わないでください。

※アルミ粉などを使用している場所では爆発の危険性があります。

※アルカリ性洗剤との共用は特にご注意ください。

□火災が生じた場合、粉末消火器を使ってください。水は使わないでください。
充電ケーブルが建物のコンセントに差し込まれている場合は速やかに抜いてください。

□使用環境に適した速度で操作・作業をして下さい。

□本機が静止している間はブラシを止めてください。床を傷つける場合があります。

□本機の使用にあたり、建物および機器に接触などの損害を与えないように安全を十分に確保してください。

□本機をきちんと作動させるため、日常のメンテナンス事項をきちんと実施して下さい。
本機に異常を感じられた場合はおちかくのリンレイ営業所もしくは販売店までお問い合わせ下さい。

□本機に使用する部品は純正部品をご使用下さい。

本機及び消耗部材を処分する際には、各自治体による廃棄物処分方法に従って下さい。

本機で使用されるマーク

登録プレートに表示されるマーク

 DCマーク：
本機が直流(DC)電源で動作することを示します。

 バッテリーマーク：
本機の登録プレート上で使われていて、本機を動作するバッテリーの量を示します (Kg表示)。
この数値はメーカーが推奨するバッテリーに関する値を表しています (「使われるバッテリーのタイプ」の項目を参照)。

 最大勾配マーク：
本機の登録プレート上で使われていて、作業モードの本機を問題なく取り扱うことができる最大勾配を示します。

本機に表示されるマーク

 タンク取り外しのマーク：
本機の後背部で使われていて、清水タンク排水キャップの場所を示しています。

 ブラシヘッドユニット制御のマーク：
本機の後背部で使われていて、ブラシヘッド操作ペダルの場所を示しています。

 タップ位置のマーク：
洗浄液制御タップの場所を示しています。

 キャップ/フィルターのマーク：
清水タンク キャップ/フィルターの場所を示しています。

 清水タンクを満たす温度上限のマーク：
清水タンクを安全に満たすための温度上限を示しています

本機に見られるマーク

 「作業」ポジションにあるスクイージーのマーク：
作業モードにするにはスクイージー・レバーをどこにすればよいかを示します。

 「アイドル」ポジションにあるスクイージーのマーク：
アイドルモードにするにはスクイージー・レバーをどこにすればよいかを示します。

 散水流量調整マーク：
洗浄液の散水流量調整レバーの場所を示します。

 ディスク角度調整のマーク：
ディスク角度の調整を使い本機を押す際の力加減を調整します。

 スクイージーホース取り回しの位置：
スクイージーホースの正しい取り回し位置を確認します。
スクイージーホースは、リフティング・チェーンの後に取り回して下さい。



警告ラベル (充電器が内蔵されていないバージョン):

本機を使う前にユーザーマニュアルとメンテナンスマニュアル (この文書)を読むよう使用者に警告するために、本機に貼り付けられています。また、本機を適切に手入れするためには特定の手順を取らなければならないことを示しています。



清水タンクフィルターの日常点検警告ラベル:

本機を使用後にはつど清水フィルターをきれいに清掃する事を喚起する為の表記です。



警告ラベル (充電器が内蔵されているバージョン):

本機を使う前にユーザーマニュアルとメンテナンスマニュアル (この文書)を読むよう使用者に警告するための表記です。



警告ラベル (充電器が内蔵されているバージョン):

本機の手入れを適切に行うために取るべき手順を使用者にアドバイスするために、本機の上で使われています。

操作パネルの表示 (バージョン B)



メインスイッチのマーク:
メインスイッチを表示します。



バッテリー残量レベルのマーク:
バッテリー残量レベルをディスプレイ表示します。



ブラシモーター・制御スイッチのマーク:
ブラシギアモーター・制御スイッチを表示します。



バキュームモーター・制御スイッチのマーク:
バキュームモーター・制御スイッチを表示します。



電磁バルブスイッチのマーク:
ブラシヘッドユニットに取り付けられた電磁バルブスイッチを表示します。

操作パネルの表示 (versions BT - BTO)



メインスイッチのマーク:
メインスイッチを表示します。(0一切、1ー入)



走行用モーター速度調整のマーク:
走行用モーター速度調整量。



エコモードのマーク:
エコモード・を起動するスイッチを示します



前後進マーク:
前後進の切り替えを行います。

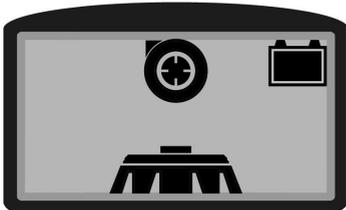


ブラシ脱着ボタン:
自動的にブラシを取り外すためのボタンを示します。

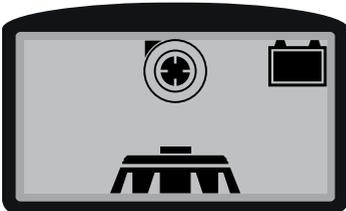
操作パネルスクリーン(versions BT - BTO)



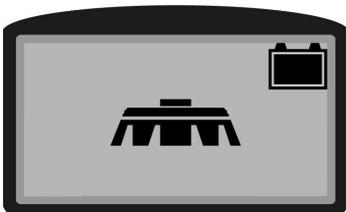
左の画像は“操作パネル”スクリーンで、右上のアイコンはバッテリー残量を表示します。



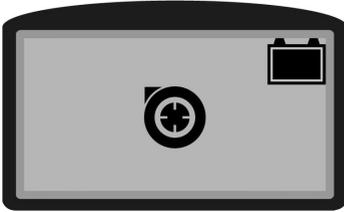
左の画像はBT、BTO、バージョンの“洗浄／乾燥”作業画面です。バキュームモーター及びパットモーターの動作を表しています。



左の画像はBT、BTO、バージョンの“エコモード洗浄／乾燥”作業画面です。選択されている作業はエコモードです。



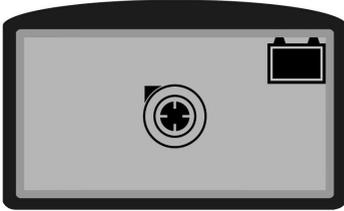
左記のイメージは、BT - BTO バージョンの「洗浄および吸水のみ」の作業スクリーンを示しています。



左記のイメージは、「乾燥のみ」の作業を示しています。



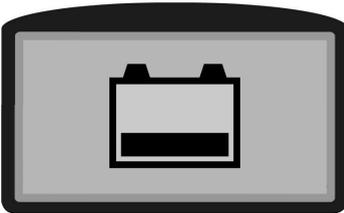
事前に本機が「洗浄のみ」の実施に使用された場合には、洗浄および吸水なし乾燥のみが実施されなければなりません。



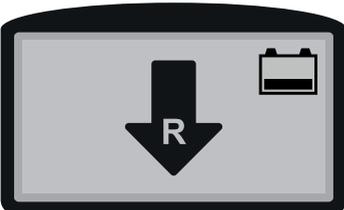
左記のイメージは、「エコモード 乾燥のみ」の作業スクリーンを示しています。スクリーン中央のマークは実行している作業のタイプを示しています。



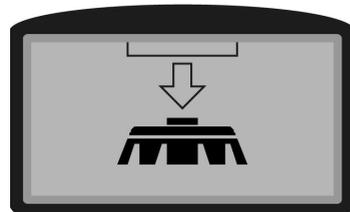
事前に本機が「洗浄のみ」の実施に使用された場合には、洗浄および吸水なし乾燥のみが実施されなければなりません。



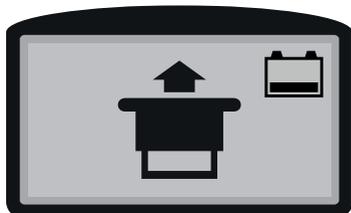
左記のイメージは、「バッテリー充電レベル」警告スクリーンを示しています。機械がこのマークを表示しブラシ洗浄作業が停止した場合は速やかに作業を終了してバックヤードに戻って下さい。



左記のイメージは、「後退」が行われていることを示しています。スクリーン中央のマークは、現在後退していることを示しています。ホレバーを握るとブザーが鳴り後進します。



左記のイメージは、「ブラシの取り外し」を示しています。



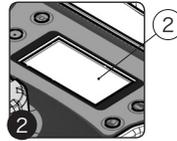
左記のイメージは、「緊急停止スイッチボタンが作動中」を示しています。



左記のイメージは、「電磁ブレーキがOFF」状態を示しています。

アワーメーター (BT/BTO バージョン)

本機には、使用時間の総計を示すアワーメーター・ディスプレイがついています。「h」文字の前の数字は時間数を示し、「m」の前の数字は10分の1時間 (6分間) を示します。点滅する「:」マークは、アワーメーターが本機の動作時間をカウントしていることを示します。



バッテリー残量レベル・インジケータ (BT/BTO バージョン)

本機の計器パネルは、バッテリー残量レベル・インジケータを表すグラフィック・マーク (01) が表示されます (図1)。インジケータは5段階で表示されます。

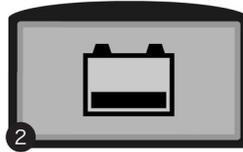
残量が20%になるとグラフィック・マークが点滅し数秒後にはスクリーンの中央に大きなサイズで表示されます (図2)。この時点で、清掃作業を終了し本機を指定された場所へ移動し充電される事を推奨致します。

- ① バッテリー残量が20%に達すると、数秒後にブラシモーターのスイッチが自動的にオフになります。床に残った水を吸水して作業を終了して下さい。

注意: バッテリー残量が10%に達すると、数秒後にバキュームモーターのスイッチが自動的にオフになります。

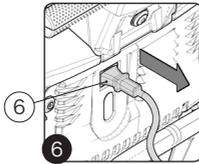
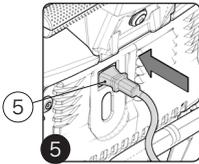
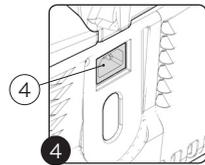
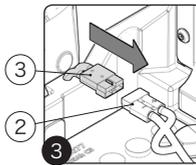
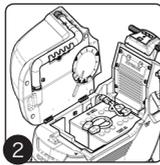
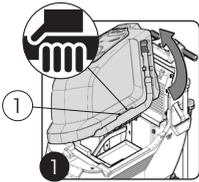
速やかに本機を指定された場所へ移動し充電される事を推奨致します。

※バッテリー放電に伴う自動停止を無視して作業を継続しますとバッテリーの寿命が短くなりますのでご注意ください。



バッテリー充電の仕方

1. バッテリーを充電する場所へ本機を運んで下さい。
2. 汚水タンクを開け、バッテリーケーブルがきちんと接続されている事を確認して下さい。(図1,2,3.)
3. 専用の充電ケーブルを本機後部の充電器に差し込んで下さい。(図4,5)
4. 充電が開始されます。充電器のランプの表示は以下になります。
赤ランプ→充電中
黄ランプ→略充電
緑ランプ→完了
5. 充電終了を確認後、充電ケーブルを抜いて下さい。
※充電は完了するまで行って下さい。(図6)



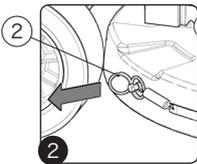
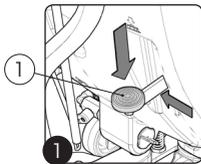
ブラシの取り付け方法 (ANTEA B - BT)

ブラシをブラシヘッドユニットに取り付けるには、以下の手順に従ってください。

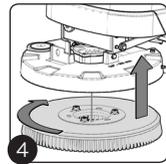
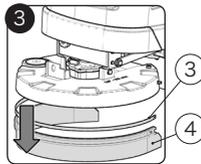
1. 本機が安全な状態であることを確認するために必要なすべての手順を踏んでください (参照「機械の安全性」)。
2. フロアからブラシヘッドユニットを引き上げて、本機の後部にあるブラシヘッド操作ペダル (1) を押し下げてください (図1)。

注意: これらの作業を行う際は必ず保護グローブを使用してください。

3. スブラッシュガードがある場合には、ブラシヘッドスブラッシュガードの上のリテーナーズプリング (2) を解除してください (図2)。
4. リテーナーブレイド (3) とスブラッシュガード (4) を取り外してくだ



- さい (図3)。
5. ブラシヘッドを持ち上げて、ブラシヘッドの下にあるプレート・ハウジングにブラシを挿入してください。3つのボタンがプレート自体の適所とみ合うまでそれを回してください。ピンが結合バネに押し込まれきちんとロックされるまで回転させてください。写真 (図4) は、ブラシを取り付けるために回す方向を示しています。
6. スブラッシュガードを元に戻すには、最初に後部左側の部分を挿入し、それから右側を挿入してください。リテーナーブレイドを用いてブラシヘッドにそれを固定するのを忘れないでください。
7. バネのカでリテーナーブレイドをブラシヘッドに固定してください。



ブラシヘッドスブラッシュガードの取り付け (ANTEA B - BT)

以下の手順に従ってブラシヘッドユニットに取り付けなければなりません。

1. 本機が安全な状態であることを確認するために必要なすべての手順を踏んでください (参照「機械の安全性」)。
2. フロアからブラシヘッドユニットを引き上げて、本機の後部にあるブラシヘッド操作ペダル (1) を押し下げてください (図1)。

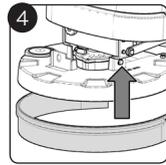
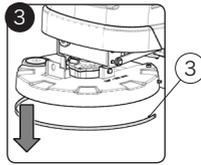
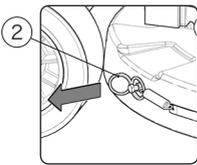
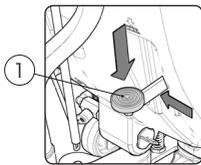
注意: これらの作業を行う際は必ず保護グローブを使用してください。

3. スブラッシュガードがある場合には、ブラシヘッドスブラッシュガードの上のリテーナーズプリング (2) を解除してください (図2)。

4. リテーナーブレイド (3) とスブラッシュガード (4) を取り外してください (図3)。

5. ブラシヘッドを持ち上げて、ブラシヘッドの下にあるプレート・ハウジングにブラシを挿入してください。3つのボタンがプレート自体の適所とみ合うまでそれを回してください。ピンが結合バネに押し込まれきちんとロックされるまで回転させてください。写真 (図4) は、ブラシを取り付けるために回す方向を示しています。

6. スブラッシュガードを元に戻すには、最初に後部左側の部分を挿入し、それから右側を挿入してください。リテーナーブレイドを用いてブラシヘッドにそれを固定するのを忘れないでください。
7. バネのカでリテーナーブレイドをブラシヘッドに固定してください。



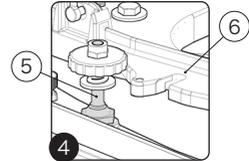
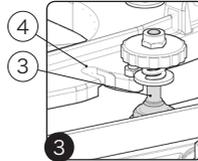
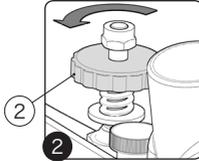
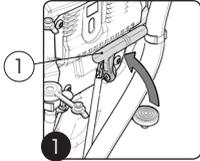
スクイジーの組み立て

以下の手順に従ってスクイジーサポートに取り付けなければなりません。

1. 本機が安全な状態であることを確認するために必要なすべての手順を踏んでください (参照「機械の安全性」)。

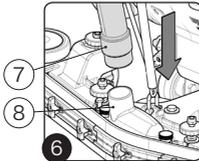
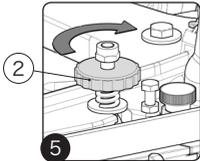
注意: これらの作業を行う際は必ず保護グローブを使用してください。

2. スクイジーユニットサポートがフロアから上がっていることを確認してください。そうならない場合には、本マシンの後方のスクイジー



しながら、ノブ (2) を締めてください

2. 7. スリーブ (8) にあるバキュームチューブ (7) をスクイジーユニットに挿入してください (図6)。



1. 制御レバー (1) を矢印の方向へ回してください (図1)。
3. 組み上げ前のスクイジーユニットのノブ (2) を回して外してください (図2)。
4. 最初にスクイジーボディの左のピン (3) をスクイジーサポートの左の切れ込み (4) に挿入する (図3)。その際、ワッシャーとバネがスクイジーサポートの上端にくっつくようにしてください。
5. スクイジーボディの右のピン (5) をスクイジーサポートの右の切れ込み (6) に挿入する (図4)。その際、ワッシャーとバネがスクイジーサポートの上端にくっつくようにしてください。
1. 6. ワッシャーとバネがスクイジーサポートの上端にくっつくように

注意: スクイジー角度の調整が必要な場合は「スクイジーユニットの調整」の項を読んでください。

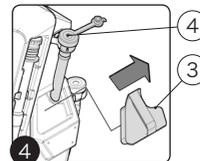
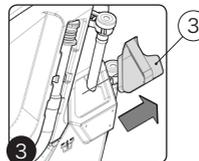
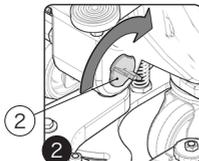
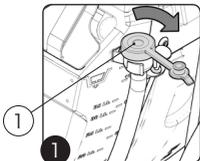
清水タンクを水で満たす

清水を充填する前に、以下の手順を実行してください。

1. 本機械を専用の清水タンク充填エリアへ運んでください。
2. 本機が安全な状態であることを確認するために必要なすべての手順を踏んでください (参照「機械の安全性」)。
3. 清水タンク解放キャップ (1) が開いていることを確認してください。開いていない場合は、キャップを開けてください (図1)。
4. 本機械の後部右にあるウォーターシステム (2) のフィルタープラグが締められていることを確認し、締められていない場合には、それを時計回りに回してください (図2)。

清水タンクは、3つの方法により水で満たすことができます

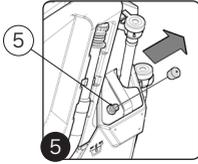
清水タンクキャップ (3) を外し、ホースまたはバケツを使って清水を満たす方法 (図3)。
クイックフューエルホース (4) を使う方法 (図4)。



10°C以上のきれいな水を自動的に充填する (5) ためのオプション・システムを用いる方法。

・ *本機では採用しておりません

5. シートの前方左にあるレベルチューブ (6) (図6) によって、タンク内部の量を確認できます。



洗剤を使う場合

洗剤を使用する際は希釈倍率を遵守して下さい。必要に応じて消泡液を汚水タンク内部に入れて使用して下さい。

注意: 金属の鋭利な縁や先端に触れる危険性をすべて排除するために、これらの作業を行う際は必ず保護グローブを使用してください。

注意: 必ず、洗浄および吸水マシンに適合することをラベル表示しているメーカーの洗剤を使用してください。そうした表示のない酸性もしくはアルカリ性の洗剤または清水を使わないでください。

注意: 酸性またはアルカリ性のメンテナンス洗剤タンクは、pH値は4から10で使用し、以下のものを含まないようにしてください：酸化剤、塩素または臭素、ホルムアルデヒド、鉱物溶剤。

使用する洗剤は、洗浄および吸水マシンでの使用に適していなければなりません。

注意: 必ず低泡洗剤を使ってください。泡の生成を避けるために、クリーニングを始める前に最小限の量の泡止め液を汚水タンクに入れてください。まじりけのない酸を使わないでください。

注意: キャップ/測定デバイスで洗剤を測りやすくするために、使用可能な2つの主な洗剤の濃度を示している2つの目盛りがっています。

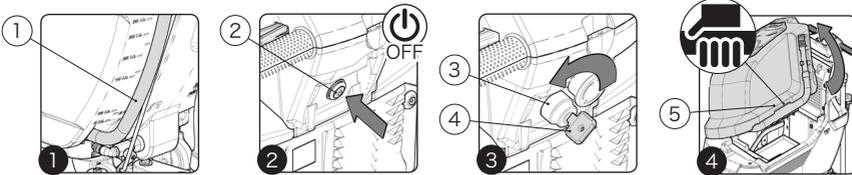
作業の準備

作業を始める前に、以下のことが必要です。

1. 汚水タンクが空であることを確認してください。空でない場合には完全に空にしてください (「汚水タンクの点検とクリーニング」の項を参照)。
2. 清水タンクの中の洗浄水量が作業に必要な量である事を確かめ、不十分であれば清水を満たしてください (「清水タンクを水で満たす」の項を参照)。
3. スクイージーラバーの状態が作業に適していることを確認し、もし適していなければメンテナンスを実行してください。 (「スクイージーユニットの点検とクリーニング」)。
4. ブラシの状態が実行する作業に適していることを確認してください。適していなければ、必要なメンテナンス活動を実行してください (「ブラシ (Bバージョン)の点検とクリーニング」、「ブラシ (BTバージョン)の点検とクリーニング」、または、「ブラシ (BTSバージョン)の点検とクリーニング」の項を参照してください)。

さい)。

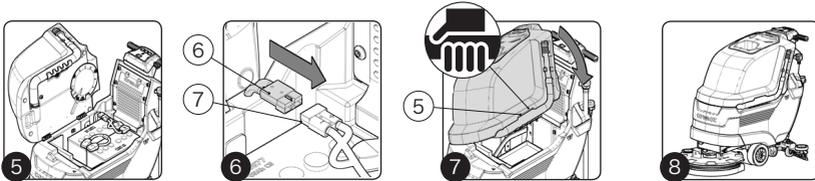
5. Bバージョンの場合、本機のスイッチがOFFであることを確認してください。OFFになっていないときは、本機の背面部にあるメインスイッチ (2)を押してください (図2)。
- !** 注意: Bバージョンの場合、その内側のLEDがOFFになっていて起動マークが見えないときにはメインスイッチ (2)はアイドルの位置にあります。
6. BT-BTS-BTOバージョンの場合には、本機のスイッチがOFFであることを確認してください。OFFになっていないときは、キー (4)を左に4分の1回転してメインスイッチ (3)を「0」にセットしてください (図3)。計器パネルからキーを取り外してください。
 7. 汚水タンクの左側のハンドル (5)をつかんで (図4)、メンテナンスポジションに達するまでタンクを回してください (図5)。



8. バッテリーコネクタ (7)をメインシステムコネクタ (6)に接続してください (図6)。

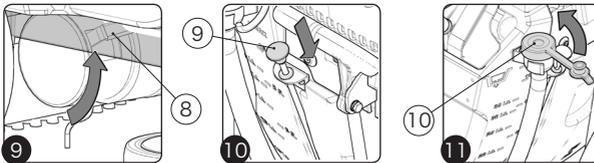
9. 汚水タンクの左側のハンドル (7)をつかんでください (図7)
10. 作業ポジションに達するまで汚水タンクを回してください (図8)。

! 注意: この工程は専門知識のある人が行なわなければなりません。



11. BT-BTS-BTOバージョンの場合には、電磁ブレーキがかかっていることを確認します。ブレーキがかかっていなければ、矢印で示される方向にレバー (8)を回してください。牽引ギアモーターは、本デバイスの左側にあります (図9)。

12. ウォータータップが全開であることを確認してください。水調整ノブ (9)は、完全に下になければなりません (図10)。
13. 清水タンク解放キャップ (10)が閉じられていることを確認してください。閉じられていない場合には、開けてください (図11)。



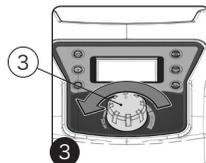
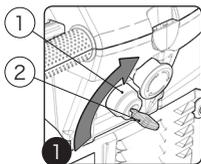
作業の開始 (バージョン BT - BTO)

作業を始めるには、以下の手順に従ってください。

1. 「作業の準備」で揚げられたチェック項目をすべて確認してください。
2. 本マシンの後方の運転席に乗ってください。
3. キー (2) を右へ4分の1回転し、メインスイッチ (1) を「I」に合わせてください。
4. ディスプレーが立ち上がると、3つの画面が順に現れます。
 - ・最初に表示される画面はこのマシンの名称を示します。
 - ・二番目の画面はこのマシンの特徴を示します。
 - ・三番目の画面は作業パネルを表示します (図2)。

i 注意: 右上のマークは、バッテリーの残量レベルを示しています。

5. 速度調整ノブ (3) が最小値に設定されていることを確認してください。そうならない場合は、ノブを反時計回りに止まるまで回してください (図3)。



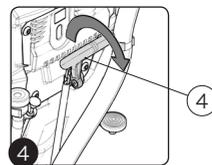
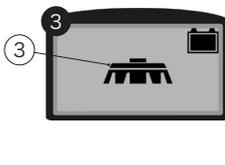
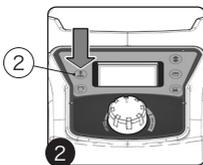
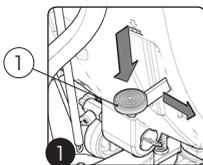
床洗浄作業 (バージョン BT - BTO)

「床洗浄」作業を行うには、以下の手順に従ってください。

1. 「作業の開始 (BT バージョン)」で示された項目をすべて確認してください。
2. BT - BTO バージョンの場合には、本機の後方にあるブラシヘッド操作ペダル (1) を押して、ブラシヘッドユニットを下げてください (図1)。
3. PM バージョンの場合には、ブラシヘッドユニットを下へ下げ、コントロールパネルの「ブラシヘッドコマンド」ボタン (2) を押してください (図2)。

i 注意: ブラシヘッドユニットがレストポジションから外れるとすぐに、コントロールディスプレイはマーク (3) を表示します (図3)。

4. 本機の後方にあるレバー (4) を使って、スクイージーユニットを下げてください (図1)。



i 注意: スクイージーユニットがレストポジションから外れるとすぐに、コントロールディスプレイはマーク (5) を表示します (図5)。

注意: マーク (3) と (5) が同時にコントロールディスプレイに現れた時は、「洗浄および吸水」が行われていることを意味します (図5)。

5. ノブ (6) を引き下げて必要な清水の量を調整してください (図6)。

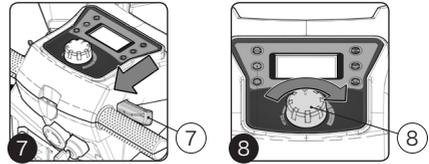
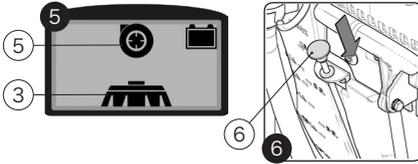
i 注意: 洗浄液流量調整ノブを引き下げると、ウォーターシステム内の清水の量が増加します (図6)。

6. 計器パネルの走行レバー (7) を使用してください (図7)。

i 注意: 本機の前進速度は2段階になっています。走行レバーを一段目に合わせると「低」速で進み、続いて二段目に合わせると「高」速で進みます。

7. ノブ (8) を段階的に右へ回して、求める前進速度を設定してください (図8)。

i 注意: 前進速度の調整については、「前進速度の調整 (BT バージョン)」をお読みください。

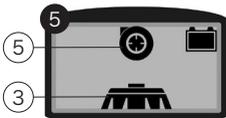


走行レバーを握るとすぐに、走行用モーター、ブラシヘッドモーターおよびバキュームモーターが作動し始め散水も同時に行われます。最初の数メートルの間に、十分な洗浄水があること、および、スクイージーが正常に作動していることを確認してください。

切らなければならない場合、作業 ディスプレーは洗浄および散水を行っているときにスイッチが切られたことを示すマーク (3) と (5) を示します (図5)。

- ① A注意：作業中に走行レバーを解除すると、本機は前に進むのを止め、ブラシモーターと電磁弁は作業を止めます。その一方で、バキュームモーターはセットされた時間（工場設定は15秒間）は作業を継続し、バキュームモーターのスイッチが切れるまでマーク (4) は点滅します。
- ① 注意：本機のスイッチが入っているときにブラシヘッドとスクイージーユニットがフロアに接触したままの状態では本機のスイッチを

- ① 注意：作業中にブラシ（PM有りバージョン）にかかる圧力を追加する必要がある場合には、単にコントロールパネルの「ブラシヘッドコマンド」ボタン (2) を3秒以上押し続けてください (図2)。コマンドディスプレイにはマーク (9) が表示されます (図9)。
（訳注：原文中に図9が存在しない）
- ① 注意：作業中にブラシ（PM有りバージョン）にかかっている追加圧力を解消し通常作業に戻す必要がある場合には、単にコントロールパネルの「ブラシヘッドコマンド」ボタン (2) を3秒以上押し続けてください (図2)。コマンドディスプレイにはマーク (3) が表示されます (図5)。



洗浄のみ (バージョン BT - BTO)

「洗浄のみ」作業を行うには、以下の手順に従ってください。

「浄のみ」が行われていることを意味します (図3)

1. 「作業の開始 (BTバージョン)」で示された項目をすべて確認してください。
2. BT - BTOバージョンの場合には、本機の後方にあるブラシヘッド操作ペダル (1) を押して、ブラシヘッドユニットを下げてください (図1)。
3. PMバージョンの場合には、ブラシヘッドユニットを下へさげ、コントロールパネルの「ブラシヘッドコマンド」ボタン (2) を押ししてください (図2)

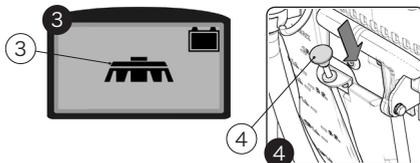
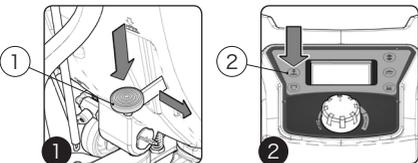
4. ノブ (4) を引き上げて必要な清水の量を調整してください (図4)。

- ① 注意：ブラシヘッドユニットがレストポジションから外れるとすぐに、コントロールディスプレイはマーク (3) を表示します (図3)。

- ① A注意：洗浄液流量調整ノブを引き下げると、ウォータースYSTEM内の清水の量を増加します (図4)。

- ① 注意：マーク (3) がコントロールディスプレイに現れた時は、「洗

5. 計器パネルの走行レバー (5) を使用してください (図5)。



- ① 注意：本機の前進速度は2段階になっています。走行レバーを一段目に合わせると「低」速で進み、続いて二段目に合わせると「高」速で進みます。

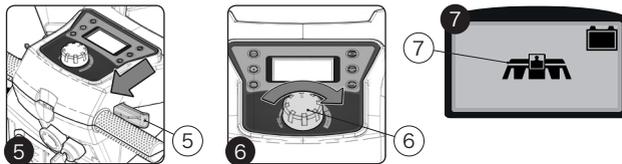
- ① 注意：前進速度の調整については、「前進速度の調整 (BTバージョン)」をお読みください。

7. ノブ (6) を段階的に右へ回して、求める前進速度を設定してください (図6)。

走行レバーが押されるとすぐに、走行用モーター、ブラシヘッドモーターおよびバキュームモーターが作動し始めます。その結果、電磁弁も

作動し始め、洗浄液はブラシに送られます。最初の数メートルの間に、行う必要のある作業に十分な清水があることを確認してください。これで本機は、バッテリーが洗浄液を使い切るまでは、完全な効率で作業を行います。

- ① 注意：作業中に走行レバーを解除すると、本機は前に進むのを止め、ブラシモーターと電磁弁は作業を止めます。
- ② 注意：本機のスイッチが入っているとときにブラシヘッドがフロアに接触したままの状態では本機のスイッチを切らなければならない場合、作業 ディスプレーは洗浄および吸水を行っているときにスイッチが切られたことを示すマーク (3) を示します (図3)。
- ③ 注意：作業中にブラシ (PM有りバージョン) にかかる圧力を追加する必要がある場合には、単にコントロールパネルの「ブラシヘ



ッドコマンド」ボタン (2) を3秒以上押し続けてください (図2)。コマンドディスプレイにはマーク (7) が表示されます (図7)。

- ④ 注意：作業中にブラシ (PM有りバージョン) にかかっている追加圧力を解消し通常作業に戻す必要がある場合には、単にコントロールパネルの「ブラシヘッドコマンド」ボタン (2) を3秒以上押し続けてください (図2)。コマンドディスプレイにはマーク (3) が表示されます (図5)。

吸水作業 (バージョン BT - BTO)

吸水作業を行うには、以下の手順に従ってください。

1. 「作業の開始 (BTバージョン)」で示された項目をすべて確認してください。
2. 本機の後方のレバー (1) を使って、スクイージーユニットを下げてください (図1)。

- ① 注意：マーク(2)がコントロールディスプレイに現れた時は、「吸水作業」が行われていることを意味します (図2)。

3. 計器パネルの走行レバー (3) を使用してください (図3)

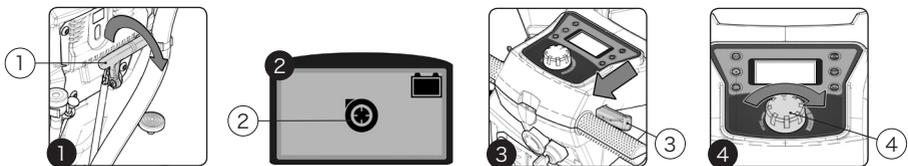
- ② 注意：本機の前進速度は2段階になっています。走行レバーを一段目に合わせると「低」速で進み、続いて二段目に合わせると「高」速で進みます。

7. ノブ (4) を段階的に右へ回して、求める前進速度を設定してください (図4)。

- ③ 注意：前進速度の調整については、「前進速度の調整 (BTバージョン)」をお読みください

走行レバーがにぎられるとすぐに、走行用モーターが作動し始めます。最初の数メートルの間に、スクイージーが適切に洗浄水を回収していることを確認してください。これで本機は、バッテリーを使い切るまで最高の効率で作業を行います。

- ④ 注意：作業中に走行レバーを解除すると、本機は前に進むのを止めます。バキュームモーターはセットされた時間 (工場設定は15秒間) は作業を継続し、バキュームモーターのスイッチが切れるまでマーク (2) は点滅します。



床洗浄なしの乾燥は、事前に、床洗浄のみを実施した場合のみ、行うようにしてください。

散水量の調整

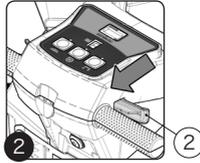
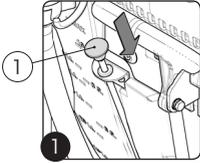
散水量を調整するには、以下の手順に従ってください。

1. 本機の後方にあるレバー(1)を下に引いて、本機後方にあるタップからの流れを最大限にしてください(図1)。

2. 走行レバー(2)をにぎると、洗浄作業を開始し、電磁弁は洗浄液をブラシへ配給します(図2)。

3. 最初の数メートルの間に、清水の量がフロアを濡らすのに十分ではあるけれどもスプラッシュガードから飛び出すほどではないことを確認してください。洗剤の排出量は、本機の後方にあるノブによって調整することができます。

! 注意: ウォーターシステムが作動しない場合には、「洗浄液フィルター・キャップ点検とクリーニング」の項目を参照してください。



前進速度の調整 (バージョン BT - BTO)

1. 速度調整ボリューム(1)が最小値に設定されているか確認してください。そうならない場合には、ノブを反時計回りに回してください(図1)。

2. キーを右へ4分の1回して、スイッチ(2)を「1」に合わせてください(図2)。

3. 走行レバー(3)をにぎってください(図3)。

4. ノブ(1)を時計回りに段階的に回して、前進速度を調整してください(図4)。

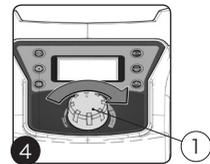
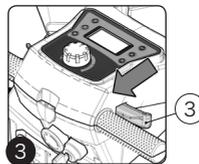
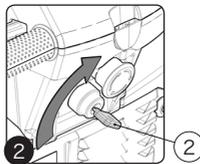
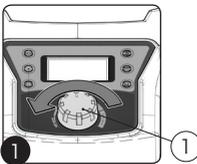
ことができます。

i 注意: 本機の前進速度は2段階になっています。走行レバーを1段目に合わせると「低」速で進み、続いて2段目に合わせると「高」速で進みます。

! 注意: 低速または高速に速度を調整すると、もう一方を自動的に修正することになります。

! 注意: 速度調整ボリューム(1)が最小値に設定されている場合、本機は(前にも後へも)進みません。

i 注意: 速度調整のノブ(1)を時計回りに回すと前進速度を増す

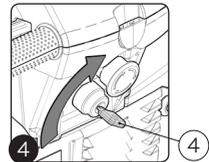
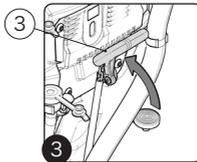
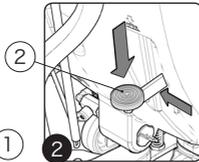
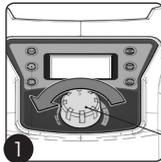


後進 (バージョン BT - BTO)

1. 速度調整ボリューム (1) が最小値に設定されているか確認してください。そうならない場合には、速度調整ボリュームを反時計回りに回してください (図1)。
2. ブラシヘッドユニットがフロアから上がっているか確認してください (図2)。

3. スクイージーユニットがフロアから上がっているか確認してください。(図3)。

4. キーを右へ回して、スイッチを「I」に合わせてください (図4)。



5. コントロールパネル上の「後退 起動/停止」ボタン (5) を押してください (図5)。
6. 後退するには、コントロールハンドルバーの下にある走行レバー (3) をにぎって下さい後退時ブザーが鳴ります (図3)。

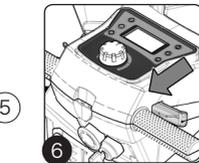
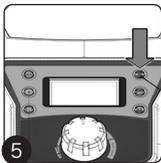
- ① 注意: コントロールパネル (図5) 上のボタン (5) を押すとすぐに、コントロールディスプレイは「REVERSE」画面を表示します (図7)。

! 注意: 後退速度は、現在の健康安全基準に準じて前進速度より低いです。後退している間速度調整が調整されると、前進速度の調整は自動的に変わります。

! A注意: スクイージーユニットがフロアに触れていると、後退はできません。後退するには、本機の後方にあるレバーを使って、スクイージーユニットをフロアから持ち上げてください。

- ① 注意: 後退しないようにするには、もう一度コントロールパネル上のボタン (5) を押してください (図5)

- ① 注意: ボタン (5) が押されるとすぐに、後退機能が起動したことを知らせる信号音が聞こえます。



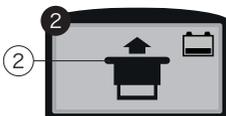
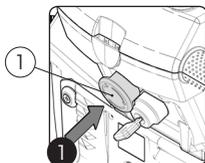
緊急停止スイッチ (バージョン BT - BTO)

この機器には緊急停止スイッチがあります。非常時は、本機の後方にあるボタン (1) を押してください。

! 注意: バッテリーとマシンシステム間の電気回路を中断します。

- ① A注意: リセットする時はキーを「0」に合わせ、ボタン (1) を標準的な位置にセットしてください。作業を再開するには、キーを「I」に合わせてください。

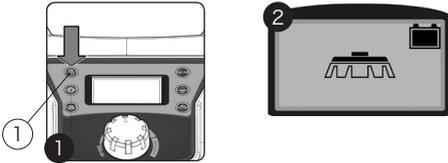
- ① 注意: 緊急停止スイッチが押されるとすぐに、コントロールディスプレイはマーク (2) (図2) を表示します。スイッチがその標準位置に戻されるまでマークは光り続けます。



エコモード (BT - BTO バージョン)

この製品にはエコモード機能があり、バッテリー消費を減らします。

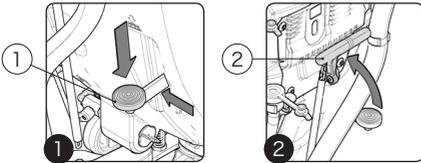
エコモード機能を起動/停止するには、計器パネル上のボタン (1) を押してください (図1)。
バキューム/パッドモーターが省力されます



オーバーフローデバイス (バージョン BT - BTO)

本機には、汚水タンクキャップの下にフロートが備え付けられており、汚水タンクがいっぱいになると、モーターを守るためにフロートが上がりバキュームモーター吸気口に入る空気を閉ざします。その際、バキュームモーターの音が低温になります。これが生じたら、以下の手順に従ってください。

1. 本機の後方のペダル (1) を押して、ブラシヘッドユニットをフロアから上げてください (図1)。
2. 本機の後方のレバー (2) を使って、スクイージーユニットをフロアから上げてください (図2)。
3. 本機を汚水の放出のための場所に運び、汚水タンクの水を排水して空にしてください (「汚水タンクの管理とメンテナンス」および「汚水タンクのフィルターおよびフロートシステムの管理とメンテナンス」の項目を参照してください)。



作業終了に際して

作業終了に際して、また、あらゆるタイプのメンテナンスの実行に先立ち、以下の作業を実施してください。

1. バージョン BT - BTO の場合には、本機の後方にあるブラシヘッド操作ペダル (1) を押して、ブラシヘッドユニットを上げてください (図1)。
2. PM バージョンの場合には、ブラシヘッドユニットを下へさげ、コントロールパネルの「ブラシヘッドコマンド」ボタン (2) を押してください (図2)。
3. スクイージーユニットを上げて、スクイージー制御レバー (3) を (図3)の矢印の方向に回してください。
4. 本機を汚水排水エリアへ運んでください。
5. バージョン Bの場合には、本機の後方にあるメンスイッチ (4) を押して本機のスイッチを切ってください (図4)。

! 注意：内部のLEDがオフになっていて起動スイッチが見えない時は、メンスイッチ (3) はアイドルポジションにあります。

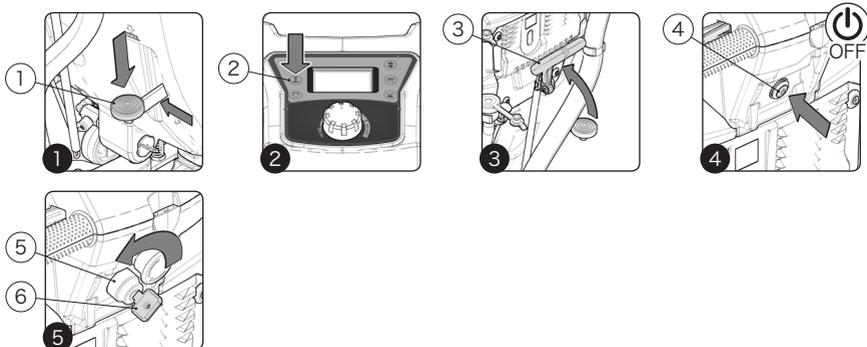
6. BT - BTO バージョンの場合には、本機のスイッチが切れていることを確認してください。そうならない場合は、キー (6) を左へ4分の1回してメンスイッチ (5) を「0」に設定してください (図5)。

7. 作業終了に際して「欄で示された「お勤める定期メンテナンス」の項目で揚げられたすべての手順を実行して下さい。
8. 本機を定められた保管場所へ運んでください。

! 注意：表面が平らで囲われた場所に本機を駐車してください。本機の近くには、損害を与える可能性があるものやそれと接触することで損害を受ける可能性のあるものがあってはなりません。

9. 本機が安全な状態であることを確認するために必要なすべての手順を踏んでください (参照「機械の安全性」)。

! 注意：本機が一日以上使用されないならば、ブラシをブラシヘッドユニットから取り外し、「ブラシ (B バージョン) の点検とクリーニング」または「ブラシ (BT バージョン) の点検とクリーニング」の項を読んでください。また、スクイージーユニットをスクイージーサポートから取り外し、「スクイージーの点検とクリーニング」の項を読んでください。



MAINTENANCE

RECOMMENDED MAINTENANCE OPERATIONS

メンテナンスの種類	作業終了時	毎日	毎週	長期不使用期間の後の使用前	移送時
汚水タンクの点検とクリーニング	X	X		X	
清水タンク キャップフィルターの点検とクリーニング	X	X		X	
バッテリーの充電 (1)	X				
スクイジーユニットの点検とクリーニング		X		X	
スクイジーホースの点検とクリーニング		X		X	
汚水タンクの点検とクリーニング・フィルターフロート	X	X		X	
清水タンクの点検とクリーニング			X	X	X
ブラシの点検とクリーニング (BT バージョン)			X	X	

※代表的な日常メンテナンスポイントは黄色い表示がされています。

汚水タンクの点検とクリーニング

汚水タンクの排水作業は、以下の手順に従ってください

1. 本機を専用の排水場所へ運んでください。
2. 本機が安全な状態であることを確認するために必要なすべての手順を踏んでください (参照「機械の安全性」)。



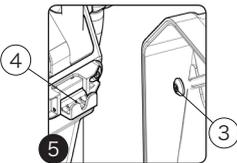
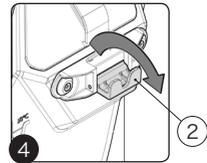
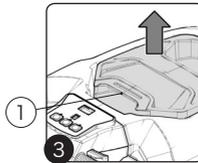
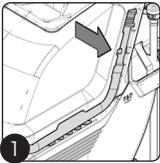
A注意: 手に大ケガをするリスクを避けるために、常に保護グローブを着用することをお勧めします。

3. クランプから汚水排水ホースを取り外してください。排水ホースは、マシンの背後にあります (図1)。

4. 汚水タンクより上のレベル(立った姿勢)で汚水排水キャップを緩めて下さい。その際にキャップ下部を折り曲げて止水して下さい。
 注意: この作業に指定される場所は、現行の環境保護規則に従わなければなりません。

5. 汚水タンク・カバーを開けて機体左後方のフックへかけて下さい。
6. 汚水タンクを乾燥させる為にカバーを開けておく事をお勧めします。

7. 汚水タンク内側を水で洗い流してください。タンクの底にたまったヘド口を取り除くために、必要に応じてヘラを使ってください。



清水タンクキャップフィルターの点検とクリーニング

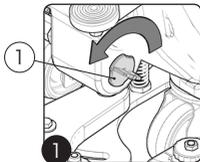
清水タンクフィルターを日常的に清掃して下さい。

清水タンクのキャップフィルターをクリーニングするには、以下の手順に従ってください。

1. 本機を専用のメンテナンス場所へ運んでください。
2. 洗浄水が床に直接排水されず。排水施設があるところで作業をして下さい。
3. 本機が安全な状態であることを確認するために必要なすべての手順を踏んでください (参照「機械の安全性」)。



A注意: 手に大ケガをするリスクを避けるために、常に保護グロ



ープを着用することをお勧めします。

4. 洗浄液キャップフィルター (1)を反時計回りに回して外してください (図1)。
5. きれいな流水できれいにしてください。存在するかもしれないすべての不純物を除去してください。



A注意: この作業に指定される場所は、現行の環境保護規則にわなければなりません。

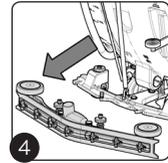
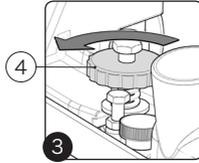
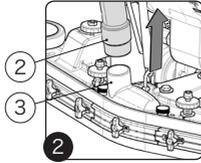
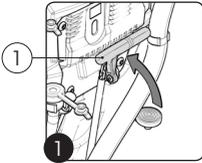
6. すべての部品を再び組み立てるために、これらの作業を逆順に繰り返してください。

スクイージーユニットの点検とクリーニング

確実な吸水作業を行う為に毎日の作業が終わったらスクイージー本体の清掃点検を行って下さい。スクイージー本体のクリーニングを実行するには、以下の手順に従ってください。

1. 本機を専用のメンテナンス場所へ運んでください。
2. 本機が安全な状態であることを確認するために必要なすべての手順を踏んでください(参照「機械の安全性」)。
3. スクイージーユニットをフロアから上げて、本機の後方にあるスクイージーユニットコントロールレバー (1) を押してください (図1)。

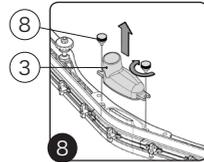
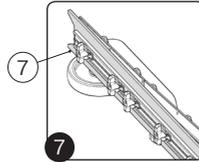
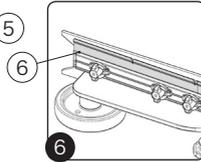
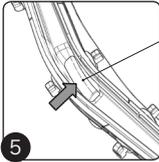
4. スクイージーユニットのパキュムノズル (3) からパキュムホース (2) を取り外してください (図2)。
5. スクイージーユニットプレアッセンブリーのノブ (4) を完全に緩めてください (図3)。
6. スクイージーコネクタのスリットからスクイージーユニットを取り外してください (図4)。
7. 流水を使い、スクイージーユニットパキュムチャンバー (5) を徹底



的にきれいにしてください (図5)。

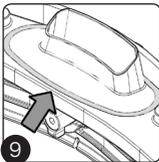
A注意: この作業に指定される場所は、現行の環境保護規則に従わなければなりません。

8. 流水で、スクイージーフロントラバーブレード (6) をきれいにしてください (図8)。



い (図8)。

12. 流水で、パキュムノズル (3) をきれいにしてください。
13. スクイージーのサポート表面もきれいにしてください (図9)。
14. パキュムノズル (3) をスクイージーユニットの上に載せ、ノブ (8) を使って固定してください。



9. 流水で、スクイージーリアラバーブレード (7) をきれいにしてください (図7)。
10. パキュムノズル (3) をスクイージーユニットに固定しているノブ (8) を緩めてください (図8)。
11. スクイージーユニットからパキュムノズル (3) を取り外してください (図3)。

15. スクイージーユニットを再び取り付けるには、「スクイージーユニットの取り付け」の項を読んでください。

スクイージーユニット上のフロントラバーブレードの摩滅をチェックしてください。フロアと接触しているゴムの端が摩滅している場合には、以下

の方法で交換してください。

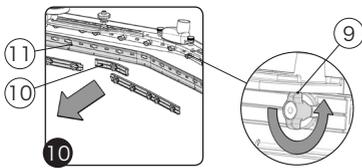
1. 本機を専用のメンテナンス場所へ運んでください。
2. 本機が安全な状態であることを確認するために必要なすべての手順を踏んでください(参照「機械の安全性」)。
3. スクイージーユニットをフロアから上げて、本機の後方にあるスクイージーユニットコントロールレバー (1) を押してください (図1)。

A注意: 金属の鋭利な縁や先端に触れる危険性をすべて排除するために、これらの作業を行う際は必ず保護グローブを使用してください。

4. スクイージーユニットのパキュムノズル (3) からパキュムホース (2) を取り外してください (図2)。
5. スクイージーユニットプレアッセンブリーのノブ (4) を完全に緩めて

- ください (図3)。
6. スクイージーコネクタのスリットからスクイージーユニットを取り外してください (図4)。
7. ウイングナット (9) を水平位置へ回してください (図10)。
8. フロント ラバープレッシングブレード (10) を取り外してください (図10)。

9. ラバーブレード (11) を取り外してください (図10)。
10. ゴムを取り換えるには逆の手順を踏んでください。スクイージーユニット上のフロントラバーブレードの摩滅をチェックしてください。フロアと接触しているゴムの端が摩滅している場合には、(ゴムの4つの辺の別の辺を上へ回すことができますが)以下の方法で交



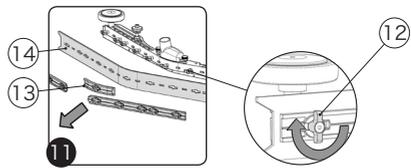
換してください。

1. 本機を専用のメンテナンス場所へ運んでください。
2. 本機が安全な状態であることを確認するために必要なすべての手順を踏んでください (参照「機械の安全性」)。
3. スクイジーユニットをフロアから上げて、本機の後方にあるスクイジーユニットコントロールレバー (1) を押してください (図1)。



ATTENTION: these operations must be carried out using protective gloves to avoid any possible contact with the edges or tips of metal objects.

4. スクイジーユニットのパキュムノズル (3) からパキュムホース (2) を取り外してください (図2)。



5. スクイジーユニットプレアセンブリーのノブ (4) を完全に緩めてください (図3)。
6. スクイジーユニットのスリットからスクイジーユニットを取り外してください (図4)。
7. ウイングネット (12) を水平位置へ回してください (図11)。
8. 前部ラバープレッシングブレード (12) を取り外してください (図11)。
9. ラバーブレード (14) を取り外して、交換してください (図11)。

10. Proceed in reverse to replace the rubber.

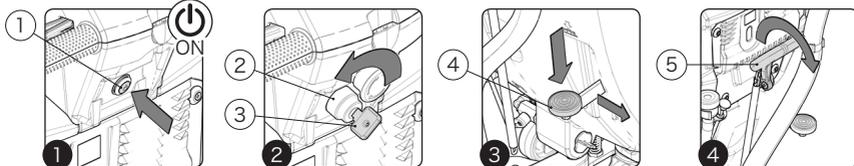
スクイジー角度の調整

スクイジーラバーブレードとフロアの間の高さを注意深く調整すると、フロアのクリーニングおよび乾燥のパフォーマンスは向上し、パキュムモーターの寿命は長くなります。スクイジーラバーブレードを調整するには、以下の手順に従ってください。

1. 本機を専用のメンテナンス場所へ運んでください。
2. 本マシンの後方煮立て下さい



注意: B パージョンでは、内部のLEDがオンで起動マークが見えるときは、メインスイッチ (1) は作業中です。



8. 作業の最初に数メートルのうちに、スクイジーラバーブレードがフロアに均等に触れていることを確認してください。ラバーブレードの中央部分の傾きを増す必要がある場合は、ネジ (8) を締めてください (図6)。傾きを減らす場合には、ネジ (8) を反対方向へ回してください。



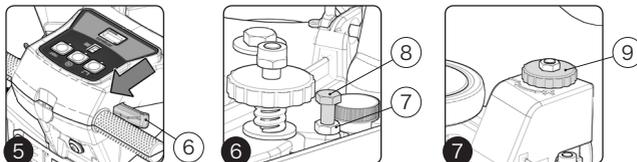
注意: ネジ (8) を回す前に、ロックナット (7) を緩めてください。終わったら、ロックナット (7) を締めてネジが緩まないようにすることを忘れないでください。

10. 作業中に、リアラバーブレードは、その全長に沿ってフロアに対して

3. BT パージョンでは、メインスイッチ (2) を「I」へ合わせてマシンのスイッチを入れてキー (3) を右へ4分の1回してください (図2)。
4. 本機の後部にあるブラシヘッド操作ペダル (4) を押して、ブラシヘッドユニットを下げてください (図3)。
5. 本機の後部にあるレバー (5) を使って、スクイジーユニットを下げてください (図4)。
6. 7. 洗浄液の流量を調整してください (「洗浄液 (CDS無しバージョン) を調整する」または「洗浄液 (CDS付きバージョン) を調整する」を読んでください)。
8. 走行レバー (6) を起動すると、本マシンは動き始めます (図5)。



注意: スクイジーがフロアに対して平行に作業を行うようにするには、左右のホイールを同じ高さに調整しなければなりません。



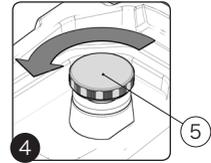
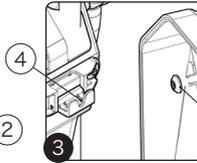
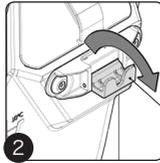
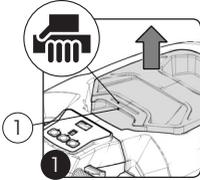
汚水タンクフィルターフロートの点検とクリーニング

汚水タンクフィルターフロートを注意深くクリーニングすると、フロアのクリーニングは確実に向上し、バキュームモーターの寿命は長くなります。汚水タンクフィルターフロートをクリーニングするには、以下の手順に従ってください。

1. 本機を専用のメンテナンス場所へ運んでください。
2. 本機が安全な状態であることを確認するために必要なすべての手順を踏んでください (参照「機械の安全性」)。

注意: 手に大ケガをするリスクを避けるために、常に保護グローブを着用することをお勧めします。

3. 汚水タンクカバー後方のハンドル (1)をつかみ、それを外してください (図1)。
4. 汚水タンクカバーサポート (2)を回転させてください。オプションのサポートは、本機の左側にあります (図2)。
5. 汚水タンクカバーのクランプ (3)を汚水タンクカバーサポート上にあるスロット (4)に挿入してください (図3)。
6. フロート・カバー (5)を矢印の方向に回して、取り外してください (図4)。



7. バキュームフィルター (6)を取り外し、きれいにしてください (図5)。

注意: フィルタのクリーニングの前に、圧縮エアを吹き付けて不純物を取り除くことをお勧めします。その際、フィルタを圧縮エアから少なくとも20cm離してください。

注意: フィルタにダメージを与えないようにするために、クリーニングは腐食性の高い薬剤を使用しないでください。

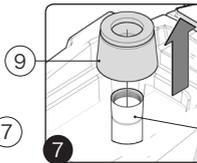
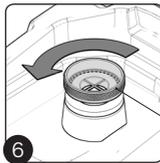
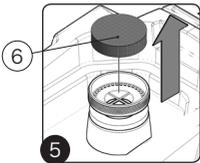
8. フロートの上のパーツ (7)を矢印の方向に回し、取り外してください (図6)。

注意: フロートの上のパーツを取り外すとき、同様に下のパーツを取り外さない (8)ように十分に注意してください (図7)。

9. フロート (9)を取り外してください (図7)。内部を流水で洗い流してください。フロートの底にたまったヘドロを取り出すには、必要に応じてヘラを使ってください。

注意: フロートの上のポリウレタンリング (10) (図7)がダメージを受けていたり、極端に摩滅していたら、最寄りの支援センターに連絡してください。

10. すべてのパーツを再び組み立てるには、この作業を逆順に繰り返してください。



清水の点検とクリーニング

清水タンクを空にするには、以下の手順に従って下さい。

1. 本機を専用のメンテナンス場所へ運んでください。
2. 本機が安全な状態であることを確認するために必要なすべての手順を踏んでください (参照「機械の安全性」)。

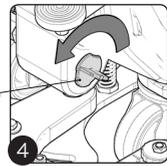
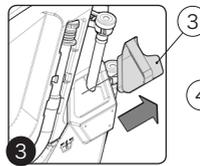
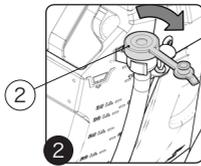
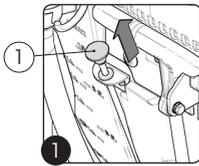
注意: 手に大ケガをするリスクを避けるために、常に保護グローブを着用することをお勧めします。

3. 本機の後方にあるタップコマンドノブを上へ引いて、本機の後方にあるタップからの流れを止めてください (図1)。
4. 清水タンクレベルチューブをシート (2)から取り外し、清水タンクをカラにしてください (図2)。

注意: この作業に指定される場所は、現行の環境保護規則に従わなければなりません。

- A注意:** そのシート (2)から清水タンクレベルチューブを取り出す前に、チューブ自体の排水キャップを閉じてください

5. 清水タンクからの排水を促すために、本機の左側にある清水タンクインレットキャップ (3)を取り外してください (図3)。
6. 清水タンク排水キャップ (4)を矢印の方向に回し、シートから取り外してください (図4)。
7. すべてのパーツを再び組み立てるには、これらの手順を逆順で繰り返してください。



ブラシの清掃とメンテナンス (ANTEA BT)

毎日の作業が終わりましたら洗浄ブラシの清掃をして下さい。
 ブラシを清掃するには、以下の手順に従ってください。

1. 本機を専用のメンテナンス場所へ運んでください。
2. フロアからブラシヘッドユニットを引き上げて、本機の後部にあるブラシヘッド操作ペダル (1) を押してください (図1)。

- !** 注意: ブラシヘッドユニットを完全には持ち上げないでください。
3. Press the "BRUSH UNCOUPLING" button (2) on the control panel (Fig.2).

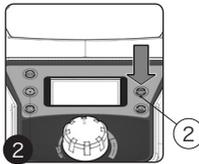
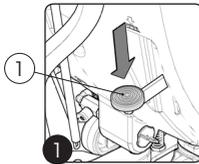
i 注意: コントロールパネル上の「BRUSH UNCOUPLING」ボタン (2) が押されるとすぐに (図2)、コントロールディスプレイは「CONFIRM UNCOUPLING」画面を表示します (図3)。

4. 確認のため、「BRUSH UNCOUPLING」ボタン (2) をもう一度押

してください。
 流水でブラシを洗い、毛足からすべての不純物を取り除いてください。毛足が摩擦していないことを確認してください。毛足の摩擦が激しい場合にはブラシを交換してください (毛足の長さは少なくとも10mmでなければなりません)。ブラシを交換するには「ブラシの取り付け」を参照してください。

! 注意: 金属の鋭利な縁や先端に触れる危険性をすべて排除するために、これらの作業を行う際は必ず保護グローブを使用してください。

! 注意: この作業に指定される場所は、現行の環境保護規則に従わなければなりません。



バキュームホースの点検とクリーニング

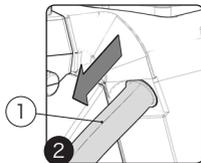
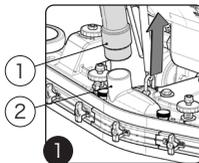
バキュームホースをクリーニングすると、フロアのクリーニングは確実に向上し、バキュームモーターの寿命は長くなります。バキュームホースをクリーニングするには、以下の手順に従ってください。:

1. 本機を専用のメンテナンス場所へ運んでください。
2. 本機が安全な状態であることを確認するために必要なすべての手順を踏んでください (参照「機械の安全性」)。

! 注意: 手に大ケガをするリスクを避けるために、常に保護グローブを着用することをお勧めします。

3. バキュームホース (1) をスクイージーユニットのバキュームノズル (2) から取り外してください (図1)。
4. バキュームチューブ (1) を汚水タンク後方の穴を通して取り外してください (図2)。
5. 汚水タンク排水ホースをクランプから取り外してください。
6. バキュームホースの中を流水で洗い流してください。
7. すべてのパーツを再び組み立てるには、これらの手順を逆順で繰り返してください。

! 注意: ラベルに示されている通り、バキュームホースをリフティングチェーンの後ろに置くときには特に注意してください (図3)。



ウォーターシステムのクリーニング (BT - BTO パーバージョン)

長期間使用しなかった後に使用する際は、事前に以下のことを行ってください。

1. 本機を専用のメンテナンス場所へ運んでください。
2. T本機が安全な状態であることを確認するために必要なすべての手順を踏んでください (参照「機械の安全性」)。

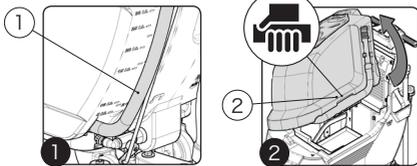


注意：手に大ケガをするリスクを避けるために、常に保護グローブを着用することをお勧めします。

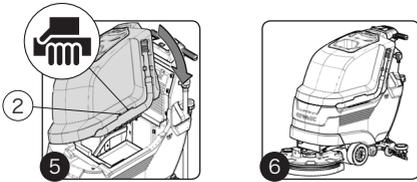


注意：この作業に指定される場所は、現行の環境保護規則に従わなければなりません。

3. 汚水タンクがカラになっていることを確認し、そうならないければ完全にカラにしてください (「汚水タンクの点検とクリーニング」の項を参照してください)。

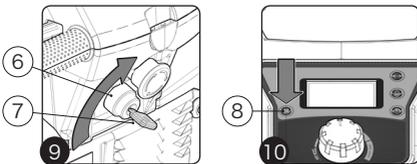


8. T汚水タンクを作業 ポジションまで回してください (図6)。
9. 電磁ブレーキがかかっているか確認して、そうならない場合は、レバー (4)、を矢印の方向に回してください。牽引ギアモーター本機の左側にあります (図7)。



11. 本機の電源を入れて下さい。：キー (7)を右へ4分の1回して、メインスイッチ (6)を「I」ポジションに合わせてください (図9)。

12. 作業スクリーンがコントロールディスプレイに表示されたら、水量調整ボタン (8)を押してください (図10)。

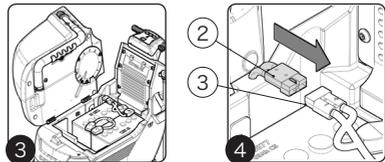


4. 清水タンク内の洗浄液の量が実行しようとしている作業のタイプに適していることを確認してください。量が不十分な場合には、清水タンクを満たしてください (「清水タンクに水を入れる」の項を参照してください)。本マシンの後方にあるレベルチューブ (1)を見てください (図1)。
5. 汚水タンクの左側にあるハンドル (1)をつかんで (図2)、メンテナンスポジションに達するまでタンクを回してください (図3)。
6. ッテリー コネクタ (3)へ メインシステムコネクタ (2)に接続してください (図4)。

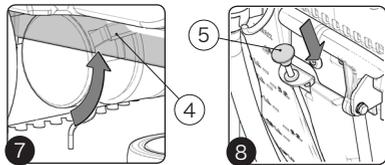


注意：この工程は専門知識のある人が行なわなければなりません。

7. 汚水タンクの側面にあるハンドル (2)を握ってください (図5)。

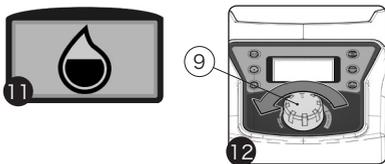


10. ウォータータップが完全に開いていることを確認してください。つまり、水位調整ノブ (5)が完全に下に降りていなければなりません (図8)。



- 注意：「水位調整」マークが完全にいっぱいになるまでボタン (8) を押し、ドージングシステムに表示される水位を最大に設定してください (図11)。

13. 速度調整ノブ (9)が最小に設定されてるか確認し、そうならない場合は、時計と反対まわりに最後まで回してください (図12)。



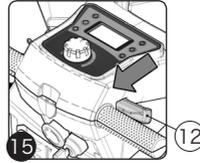
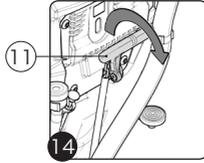
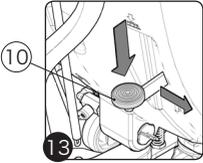
① A注意：速度調整ボリューム (9) が最小に設定されていると、本機は (前方にも後方にも) 動き出しません。

14. 本機後方にあるブラシヘッド操作ペダル (10) を押して、ブラシヘッドユニットを下げてください (図13)。
15. 本機の後方にあるレバー (11) を使って、スクイージーユニットを下げてください (図14)。
16. 走行レバー (12) を起動すると (図15)、ブラシヘッドギアモーターとバキュームモーターは作動します。同時に、電磁弁とドージングシステムは洗浄液をブラシに供給し始めます。

17. ドージングシステムが洗浄されるまで、数分 (通常24分間) お待ちください。

 注意：この操作中に本マシンは清水を排出します。

18. 2分 から4分が経過したら、清水タンクを完全にカラにしてください。「清水の点検とクリーニング」の項を読んでください。



トラブルシューティング

この章では、本機の使用にかかわる最も一般的な問題を挙げていきます。ここで伝えられる情報に関する問題を解決することができない場合は、最寄りの支援センターにご連絡ください。

問題	原因	解決策
本機の電源入らない	メインスイッチの電源がオフになっている (Bバージョン)	メインスイッチが作業ポジションになっていて、内部LEDが点いていて、ONマークが見えることを確認してください。そうならない場合は、メインスイッチを押ししてください。
	メインスイッチが「0」ポジション (BTバージョン)になっている	メインスイッチが「1」になっているか確認し、そうならない場合は、キーを右へ4分の1回してください
	本機の電源が入っているときに、コントロールディスプレイに警告メッセージが出ていないことを確認してください (BTバージョン)。	本マシンを停止し、サービスセンターの技術者にご連絡ください。
	バッテリーが互いに正しく接続していて、バッテリーコネクタが電気システムコネクタに接続していることを確認してください。	本マシンにバッテリーを挿入してください「本マシンの電気システムにバッテリーを接続する」の項を参照してください。
	バッテリーの残量レベルを確認してください。	バッテリー残量レベルが充電必要レベルならば、完全な充電サイクルを実施してください (「バッテリーの再充電」または「バッテリーの再充電 (バッテリー充電器が内蔵されているバージョン)」を読んでください)。
	本機のバッテリー充電が必要なレベルに達していないことを確認してください (バッテリー充電器付きバージョン)。	電源ケーブルをバッテリー充電器から取り外してください。
バッテリーが正しく作動しない	バッテリーが正しく接続されていない	ケーブルブリッジをきちんと接続してください。 出力電圧は24Vでなければなりません。 バッテリーケーブルコネクタを一般システムケーブルのコネクタにきちんと接続してください。
	バッテリーのターミナルが酸化している (錆びている)。	バッテリーからすべてのケーブルのプラグを抜き、バッテリーターミナルをきれいにし、少量のグリースを塗って、電気接続を回復してください (バッテリーメーカーにより提供されるバッテリーユーザー・マニュアル)を読んでください)。
バッテリー充電器が作動しない	電源のプラグが本マシン (バージョンCB)に取り込まれるバッテリー充電器のソケットに正しく挿入されていない	バッテリー充電器の電源ケーブルのプラグがバッテリー充電器のソケットに接続していることを確認してください。
	電動供給ケーブルプラグは、本線ソケットに正しく挿入されていません	バッテリー充電器の電源ケーブルのプラグがバッテリー充電器のソケットに接続していることを確認してください。必要に応じて、もう一つのソケットを試してください。
	メインの電源の特性が、バッテリー充電器が必要するものと一致していない	バッテリー充電器プレートの特徴が、メイン電源のものと同じことを確認してください。
	バッテリーのLEDが繰り返し点滅する (バッテリー充電器バージョン)	バッテリー充電器の使用およびメンテナンスのマニュアルを参照して、点滅信号が意味するところは、バッテリー充電器がバッテリーの再充電段階であるということを確認してください。
	電源ケーブルのプラグが、本マシン (バージョンCB)に取り込まれるバッテリー充電器のソケットに正しく挿入されていない	バッテリー充電器の電源ケーブルのプラグがバッテリー充電器のソケットに接続していることを確認してください。
	バッテリー充電器はメインに接続されていない	バッテリー充電器を電源コンセントに接続してください。
	バッテリー充電器がバッテリーに接続されていない	バッテリー充電器をバッテリーに接続してください。
	メインのコンセントに正しく接続されていることを確認する。デイトイムソケットではないことを確認する。	

問題	原因	解決策
バッテリーの持ちが悪い	バッテリー残量レベルを確認し、コントロールディスプレイの上のマークを確認してください	バッテリーの充電が必要ならば、完全な充電サイクルを実行してください。(「バッテリーの再充電」または「バッテリーの再充電 (バッテリー充電器が内蔵されているバージョン)」を読んでください)。
	バッテリーが正しく作動しない	「バッテリーが正しく作動しない」の項を読んでください。
	バッテリー充電器が作動しない	「バッテリー充電器が作動しない」の項を読んでください。
	バッテリーはすでに数多くの放電と再充電を経験している	バッテリーを交換してください。
本機がまっすぐ進まない	ブラシがきちんと取り付けられていない	ブラシを正しく取り付けてください。
	ブラシヘッドはきちんと調整されていません	「ブラシヘッドの調整」の項を読んでください
本機が動かない	走行レバーは起動されていない	コントロールハンドルバーの下の走行レバーを押してください
	速度調整ボリュームは最小値に合わせてあります (BT バージョン)。	速度調整 調整ノブを徐々に時計回りに回して、本機速度を調整してください。(「前進速度の調整 (BT バージョン)」を読んでください)。
	牽引ギアモーターの電磁ブレーキがかかっている (BT バージョン)	電磁ブレーキをかけ、走行用モーターにあるレバーを反時計回りに回してください(走行用モーター本機の後方左にあります)。
ブラシ上の洗浄液が不十分である	洗浄液タップが、部分的に、または、完全に閉じられています。	タップレバー制御ノブを下へ動かしてください。
	ウォーターシステムの洗浄液の量が実行される作業に十分でない	本マシンの吸水システムの洗浄液の量が実行する作業に適していることを確認してください。(「洗浄液の管理」の項を読んでください)
	洗浄液フィルターが詰まっている	洗浄液フィルターが詰まっていることを確認してください。詰まっているときは、きれいにしてください(「洗浄液フィルターの点検とクリーニング」の項を読んでください)。
本機が正常なクリーニングを作業しない	本機の電源が入らない	「本機の電源が入らない」の項を読んでください。
	洗浄液が十分に出ていない	「ブラシ上の洗浄液が不十分」の項を読んでください。
	ブラシが本機に正しく挿入されていない	ブラシが本機に正しく挿入されていることを確認してください (「ブラシの組み付け」を読んでください)。
	使用されているブラシのタイプが汚れに適していない	本機に取り付けられているブラシが実行される仕事に適していることを確認してください (「ブラシの選び方と使い方」を読んでください)。
	ブラシの毛先やパッドが極端に摩滅している	ブラシの状態を確認し、必要に応じて好感してください (ブラシ (B バージョン)の点検とクリーニング)または「ブラシ (BT バージョン)の点検とクリーニング」を読んでください)。

問題	原因	解決策
スクイージーが完璧に乾燥しない	バキュームユニットが詰まっている	スクイージーが詰まっていることを確認してください（「スクイージーユニットの点検とクリーニング」の項を読んでください）。
		バキュームホースが詰まっていないことを確認してください（「バキュームホースの点検とクリーニング」の項を読んでください）。
		バキュームキャップフィルターが詰まっていないことを確認してください（「汚水タンクの点検とクリーニング・フィルターポート」を読んでください）。
	汚水タンク排水ホースのキャップがきちんと取り付けられていない	汚水タンク排水ホースのキャップがきちんと取り付けられていることを確認してください。
	汚水タンクカバーが正しく取り付けられていない	汚水タンクカバー本機にきちんと取り付けられていることを確認してください。
泡が過剰に作られる	使われている洗剤が正しくない	泡の少ない洗剤が使用されていることを確認してください。そうでない場合は、少量の泡止め液を汚水タンクを加えてください。
	フロアがあまり汚れていない。	洗剤をさらに薄めてください。
本機が正しく吸込まない	汚水タンクがいっぱいである	汚水タンクをカラにしてください（「汚水タンクの点検とクリーニング」の項を読んでください）。
	バキュームデバイスが詰まっている	「スクイージーが完璧に乾燥しない」の項を読んでください。

廃棄について

機器を廃棄する場合、解体センターか認可されている廃棄物収集所にもって行くこと。
機器を廃棄する前に、以下に記す部品を取り外して分別し、該当する環境衛生規則に従い適切な収集所にもって行かなければならない。

- ・ ブラシ
- ・ フェルト
- ・ 電気／電子部品*
- ・ バッテリー
- ・ プラスチック部品 (タンクとハンドルバー)
- ・ 鉄の部品 (レバーとフレーム)

(*) 特に電気／電子部品を廃棄する際には販売代理店に問い合わせること。



ブラシの選び方と使い方

ポリプロピレン・ブラシ (PPL)

あらゆる種類の床に対して使用することができる。磨耗と熱湯 (50°C以下) に対して優れた耐性を示す。ポリプロピレンは非吸湿性であるため、湿潤環境で作業する場合にも特性を維持する。

研磨ブラシ

研磨剤を含んだブラシです。床を傷める場合がありますので床材に適したブラシを選んで下さい。

毛の太さ

床材に適した太さのブラシをご使用下さい

パッド

床材に適したパッドをご使用下さい。

機器名	ブラシ数	型番	ブラシの毛の種類	ブラシの毛の直径	ブラシの直径	ブラシの長さ	補足
ANTEA 50BT	1	404653	PPL	0.9	508	-	ブラシ (ブラック)
	1	404654	PPL	0.3	508	-	ブラシ (ブルー)
	1	405631	PPL	0.6	508	-	ブラシ (ホワイト)
	1	405632	ABRASIVE		508	-	ブラシ
	1	405527			497	-	パッド・ホルダー
ANTEA 50BTO	1	442005					RED PAD 508X355
	1	442661					GREEN PAD 508X355
	1	442662					BLACK PAD 508X355

COMAC S.p.A.
Via Maestri del Lavoro, 13
37059 Santa Maria di Zevio (VR)
は、その責任の下に、

FLOOR SCRUBBING MACHINES
mod. ANTEA 50 B, ANTEA 50 BT, ANTEA 50 BTS, ANTEA 50 BTO, ANTEA 50
VERSA 55BT, VERSA 55BT PM, VERSA 65BT, VERSA 65BT PM, VERSA 50BTS

- ・ が評議会指令:
- ・ 2006/42/EC: 機械指令
- ・ 2014/30/EC: 電磁両立性 (EMC) 指令
- ・ に適合しており、以下の規格に適合していることを宣言します。
- ・ EN 60335-1: 家庭用および類似の電気器具-安全-第1部: 一般要求事項
- ・ EN 60335-2-72: 家庭用および類似の電気器具第2部: 業務用の床処理機械に関する特定要求事項
- ・ EN 12100-1: 機械の安全性-基本概念、設計の一般原則-第1部: 基本用語、方法論
- ・ EN 12100-2: 機械の安全性-基本概念、設計の一般原則-第2部: 技術原則と仕様
- ・ EN 61000-6-2: 電磁両立性 (EMC)-第6-2部: 共通規格-工業環境におけるイミュニティ
- ・ EN 61000-6-3: 電磁両立性 (EMC)-第6-3部: 一般規格-住宅、商業及び軽工業環境のエミッション規格
- ・ EN 62233: 家庭用および類似用途の機器-電磁界-暴露評価と測定方法

本技術書を編纂する権限を与えられた者:

Mr. Giancarlo Ruffo
Via Maestri del Lavoro, 13
37059 Santa Maria di Zevio (VR) - ITALY
Santa Maria di Zevio (VR), 28/09/2015

Comac S.p.A.
Giancarlo Ruffo



株式会社リンレイ

〒104-0061 東京都中央区銀座4-10-13
業務製品事業部 マシン事業開発部

RINREI
RookRED